

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 海南省社会福祉協議会

平成28年度

## 社会福祉法人 海南市社会福祉協議会事業報告

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

少子高齢化社会を迎え、近隣の結びつきが薄れ、地域社会での人と人の関わりが希薄化する中で、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制、いわゆる地域包括ケアシステム構築の重要性が高まっています。

こうした中、海南市社会福祉協議会は、これまで実施してきました、ふれあい・いきいきサロンの設置・運営やボランティア活動への支援を行うとともに、新規事業として海南市から受託して第1層の生活支援コーディネーターを配置し、地域の社会資源の把握・開発に努め、助け合い・支え合いの地域づくりを推進しました。

また、一方で、福祉総合相談、資金貸付事業、福祉サービス利用援助事業を実施するなど、相談支援の充実に努めました。

また、平成28年熊本地震について、災害義援金の受付窓口の設置、被災地への職員派遣、ボランティアバスの運行を行い、被災地支援に努めるとともに、将来発生が予測される自然災害に備え、災害ボランティア活動の基盤強化を図るため、災害ボランティアセンター設置運営訓練や災害ボランティアの登録にも取り組みました。

加えて、社会福祉法の改正に伴う定款変更等、社会福祉法人制度改革についての取り組み並びに介護保険法の改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業への参画のための体制整備を行うなど、「市民みんなで安心していきいきと暮らしているまち」の実現を目指し、住民、民生委員児童委員、ボランティアや行政及び福祉・保健・医療などの関係機関と協働して地域福祉活動の推進に努め、事業を実施しました。

事業の詳細については、次のとおりです。

## I. 法人運営事業

### 1. 法人運営事業

#### (1) 法人運営事業

##### ①会議の開催

###### ア 理事会の開催

平成28年	5月27日	平成27年度事業報告について（同意） 平成27年度法人全体決算について（同意） 評議員の選任について（同意）
平成28年	7月1日	会長、副会長の選任について（選任） 会長個人と利益相反する行為となる事項及び双方代理となる事項に関する職務代理者の選任について（選任）
平成28年	12月19日	定款の全部を改正する定款について（同意） 評議員選任・解任委員会運営細則について（同意） 職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程について（同意） 平成28年度第1次補正法人全体収支予算について（同意）
平成29年	2月24日	理事・監事選任規程について（同意） 評議員選任規程について（同意） 理事・監事・評議員選任規程を廃止する規程について（同意） 介護予防・日常生活支援総合事業における第1号訪問事業運営規程について（同意） 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程について（同意） 会員規程の一部を改正する規程について（同意）

	事務局規程の一部を改正する規程について（同意）
	職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について（同意）
	臨時職員等就業規則の一部を改正する規則について（同意）
	平成28年度第2次補正法人全体収支予算について（同意）
	評議員選任・解任委員の選任について（同意）
平成29年 3月27日	経理規程の一部を改正する規程について（同意）
	定款施行細則の全部を改正する細則について（同意）
	平成29年度事業計画について（同意）
	平成29年度法人全体収支予算について（同意）
	評議員選任候補者の推薦について（同意）
イ 評議員会の開催	
平成28年 5月30日	平成27年度事業報告について（議決）
	平成27年度法人全体決算について（議決）
	次期理事及び監事の選任について（議決）
平成28年12月21日	定款の全部を改正する定款について（議決）
	評議員選任・解任委員会運営細則について（議決）
	職員の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程について（議決）
	平成28年度第1次補正法人全体収支予算について（議決）
平成29年 2月27日	理事・監事選任規程について（議決）
	評議員選任規程について（議決）
	理事・監事・評議員選任規程を廃止する規程について（議決）
	介護予防・日常生活支援総合事業における第1号訪問事業運営規程につい

て（議決）

役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部を改正する規程について（議決）

会員規程の一部を改正する規程について（議決）

事務局規程の一部を改正する規程について（議決）

職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について（議決）

臨時職員等就業規則の一部を改正する規則について（議決）

平成28年度第2次補正法人全体収支予算について（議決）

理事の選任について（議決）

平成29年 3月28日 経理規程の一部を改正する規程について（議決）

定款施行細則の全部を改正する細則について（議決）

平成29年度事業計画について（議決）

平成29年度法人全体収支予算について（議決）

#### ウ 監事会の開催

平成28年 5月18日 平成27年度事業報告及び法人全体決算について

#### エ 評議員選任・解任委員会の開催

平成29年 3月28日 評議員の選任について（承認）

### ②研修会の開催

#### ア 役職員研修会への参加

平成29年2月14日、紀南文化会館において、これからの地域福祉の展開と社会福祉協議会の取組みについて考えることを目的に、平成28年度市町村社会福祉協議会役職員研修会が開催され、役員6名・職員2名が参加しました。

### ③社会福祉協議会会員の募集

自治会の方々の尽力をいただき、住民の皆様方、また民生委員児童委員協議会、企業、団体等の理解と協力を得て、次のとおり社会福祉協議会会費を納入していただきました。

加入世帯数は14,111世帯で、平成29年3月末日の世帯数22,431世帯に対して、加入率は62.9%でした。

(内 訳)

区 分	年額 (1口)	口 数	納 入 額
一 般 会 費	400 円	13,283 口	5,313,200 円
	400 円未満	—	143,900 円
賛 助 会 費	1,000 円	288 口	288,000 円
特 別 会 費	5,000 円	27 口	135,000 円
合 計			5,880,100 円

### ④社会福祉功労者表彰式の開催

平成28年10月25日、海南保健福祉センターにおいて、平成28年度海南市社会福祉功労者表彰式を開催しました。

(被表彰者) 市社協会長表彰 16名

市社協会長感謝 4団体

平成28年10月12日、県民交流プラザ和歌山ビッグ愛において、平成28年度和歌山県社会福祉功労者表彰式が開催されました。

(本市被表彰者) 県社協会長表彰 3名・1団体

## ⑤指定寄附金の配分

寄附者の指定により寄附金を交通遺児の子どもたちへ届けました。

## II. 地域福祉事業

### 1. 共同募金配分金事業

#### (1) 老人福祉活動事業

ア 福祉団体の活動を援助するため、次の福祉関係団体に対して、活動助成金を交付しました。

老人クラブ連合会 90,000円

#### (2) 障害児・者福祉活動事業

ア 福祉団体の活動を援助するため、次の福祉関係団体に対して、活動助成金を交付しました。

身体障害者連盟 200,000円

障害児者父母の会連合会 160,000円

手話サークル青空 30,000円

海南たんぽぽの会 30,000円

#### (3) 児童・青少年福祉活動事業

ア 福祉団体の活動を援助するため、次の福祉関係団体に対して、活動助成金を交付しました。

更生保護女性会 40,000円

紀西保護司会海南分会 30,000円

#### (4) 福祉育成・援助活動事業

##### ①介護用品貸与事業

高齢者や障害者等の日常生活での負担とその家族の介護に対する負担の軽減を図るため、また自治会や学校等の車イス体験及び防災研修会等で車イスの介助等を学ぶために、車イスを貸与しました。

貸与先	貸与件数	貸与台数
個人	20件	20台
その他	11件	105台

## ②福祉ビデオ等貸与事業

市内に住所を有する方や市内に通勤又は通学されている方を対象に、福祉に関するDVDを貸し出しました。

## 2. 地域福祉活動推進事業

### (1) 善意銀行運営事業

平成28年10月18日に開催された善意銀行運営委員会の審議を経て、住民の方々や企業、団体等からの善意の預託金を次の2団体に対して、497,000円を払い出しました。

(任意預託)

団体名	内容
社会福祉法人一峰会 おかし工房桜和	バウムクーヘン製造に係る備品一式
社会福祉法人ふじの会 五月山子ども園	遊戯用マットとブロック



## (2) 心配ごと相談事業

### ア 心配ごと相談所の開設

住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、心配ごとなどに対する助言や援助を行って解決に努めると共に、他の機関において解決するのが適切な相談については斡旋による解決を図る等、住民福祉の増進に努めました。その事業内容は次のとおりです。

#### ○相談所運営状況

相 談 場 所	海南保健福祉センター1階
	下津保健福祉センター2階
相 談 員	民生委員15名・行政相談委員3名
開 設 日 数	70日
相談利用者数	55名(男15名・女40名)
面接総時間数	41時間45分

○取扱件数及び処理状況

相談事項 件数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計
		生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健・衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障害者児福祉	母子福祉・父子福祉	高齢者福祉	苦情	その他	
取扱件数		14	1	4	3	10		1	2	1	3	15					2	6	6	31	99
処理状況	解決			1		1						2						2	1	4	11
	再来																			1	1
	民生委員	3				1					1	2					1	2		6	16
	他機関	5	1	2	3	4		1	1		2	8					1	2	5	9	44
	その他	6		1		4			1	1		3								11	27

イ 心配ごと相談員研修会の開催

平成29年1月11日、海南保健福祉センターにおいて、相談業務に役立つ知識を身につけることを目的に、心配ごと相談所相談員研修会を開催しました。(相談員17名参加)

講師：海南市暮らし部 社会福祉課 専門員 川井 妙氏

[内 容] 『こころの病と精神障害～病が及ぼす生活のしづらさ～』

### (3) 広報事業

#### ア 広報紙の発行

社会福祉協議会の事業や活動について、住民の皆様方に幅広く知っていただくため、広報紙「かいなんし社協」を毎月発行し、自治会の方々の尽力をいただき、市内全戸に配布しました。

#### イ ホームページの運営

ホームページをリニューアルし、社会福祉協議会の情報提供の充実を図りました。

### (4) 世代間交流事業

子どもたちと家族のふれあいや、世代間の交流と青少年の健全育成を目的に、世代間交流事業を実施しました。

#### ア ふれあい福祉フェスティバルの開催

平成28年9月24日 海南市総合体育館（参加者延べ400名）

[内 容] 屋外イベント：作業所模擬店、ふれあい移動動物園、

体育館イベント：社協コーナー、工作教室、ミニSL乗車、市内作業所等の販売コーナー、作業所マップ展示、作業所ゲームコーナー（ストラックアウト、ビンゴゲーム）、日赤講習、エアートランポリン、バルーンアート

#### イ 工作体験の開催

【第1回】平成28年7月30日 海南保健福祉センター（参加者53名、うち子ども33名）

講 師：小 阪 享 氏

[内 容] 魚釣りゲームの工作

【第2回】平成29年3月30日 下津保健福祉センター（参加者30名、うち子ども20名）

講 師：小 阪 享 氏

[内 容] 和歌山の名所の工作

ウ グラウンド・ゴルフ大会の開催

平成28年12月18日 別院グラウンドゴルフ場（参加者50名、うち小学生21名）

(5) 用具等貸与事業

ア チャイルドシート等の貸出し

住民の子育てに係る補完的役割を果たすと共に、チャイルドシート等の使用を促進し、幼児の生命又は身体に対する危害の防止を図るために、チャイルドシート等を貸し出しました。

品名	貸出件数
チャイルドシート	3件
ジュニアシート	0件

イ グラウンド・ゴルフ用具等の貸出し

住民の交流及び健康増進を図るために、グラウンド・ゴルフ用具等を貸し出しました。

品名	貸出件数
グラウンド・ゴルフ用具	25件
テント	0件

(6) 福祉教育事業

学校や身近な地域の方々等と共に取り組む福祉教育プログラムを通して、まちに住む様々な人が地域の福祉課題に気づき、ノーマライゼーションの考えに基づく福祉の心（各々の個性の違いを認め、共感し支え合える心）を育むことを目的に福祉教育事業を実施しました。

- [内 容] 車イス体験、アイマスク体験、高齢者擬似体験・高齢者インタビュー・高齢者施設訪問等
- [実施先] 日方小学校、大野小学校、南野上小学校、下津小学校、加茂川小学校、大東小学校、第三中学校、亀川中学校、巽中学校、下津第一中学校、小中自治会、たつべパークランド地区、夏のボランティア体験
- [実施回数] 30回

## (7) ボランティアセンター活動事業

### ア ボランティア活動推進校の普及及び支援

○市内の小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、学校における福祉教育や交流・体験学習による福祉活動等の推進と児童・生徒の社会福祉への理解と関心を深めることを目的に、ボランティア活動推進校普及事業を実施し、この事業に取り組みされた10校（日方小学校、大野小学校、巽小学校、中野上小学校、大東小学校、加茂川小学校、第三中学校、亀川中学校、下津第一中学校、下津第二中学校）をボランティア活動推進校として指定すると共に、活動に対する支援を行いボランティア活動の普及に努めました。

### イ ボランティア体験事業の実施

○2016「夏のボランティア体験月間」事業の一環として、ボランティア活動に関心のある小学生、中学生及び高校生が、夏休み期間を利用し、さまざまなボランティア活動を体験することを目的に、夏のボランティア体験事業を実施しました。

#### 【夏まつり体験】

期 日：平成28年7月31日、8月3日、7日、16日、19日

参加者：34名（中学生30名、高校生4名）

内 容：高齢者施設で開催される夏まつりの準備や高齢者の介助の手伝いを通じて、入所者や地域の人たちと交流しました。

【デイサービス体験】

期 日：平成28年7月25日、26日、8月2日、4日、9日

参加者：15名（中学生15名）

内 容：高齢者施設のデイサービスを利用されている高齢者の買い物の手伝いや車イスの介助、レクリエーションなどを通じて交流しました。

【レクリエーション体験】

期 日：平成28年7月21日

参加者：3名（中学生3名）

内 容：高齢者施設に入所されている高齢者と、レクリエーションを通じて交流を図りました。

【お便り体験】

期 日：平成28年7月21日

参加者：2名（中学生1名、高校生1名）

内 容：高齢者施設に入所されている高齢者の買い物の手伝いや車イスの介助、レクリエーションを通じて交流を図り、心のこもったお便り（絵手紙等）を作成しました。

【収集体験】

期 日：平成28年7月22日、27日、28日、29日

参加者：54名（小学生3名、中学生51名）

内 容：ペットボトルキャップをリサイクルすることで、資源の再活用やゴミを無くしてCO2を減らし、地球温暖化を防ぐためなど、ボランティアと一緒にキャップを選別し、洗浄しました。

【盲導犬・セラピー犬ふれあい体験】

期 日：平成28年8月7日

参加者：20名（小学生20名）

内容：盲導犬やセラピー犬の紹介やふれあい体験を通して、障害のある方を取りまく環境やボランティアとのかかわりについて理解を深めました。

ウ ボランティアの相談、登録及び斡旋

○ボランティアの登録、活動に関する相談や斡旋等の窓口を設け、ボランティア活動の普及に努めました。

エ ボランティア情報の提供

○ボランティアグループの紹介や参加者募集等、ボランティア活動に関する情報について、社協広報紙を通じて提供及び啓発を行いました。

○平成28年10月16日、海南保健福祉センターにおいて開催された海南市民健康まつりに参画し、収集ボランティア活動についてのコーナーを設け、啓発を行いました。

オ ボランティア活動の支援及び育成

○ボランティア活動中の万一の事故に備え、安心して活動に取り組めるようにボランティア活動保険に加入しました。（加入者1,047名）

○地域福祉の向上とボランティア活動の拡充及び促進を図るため、海南市社会福祉協議会に登録しているボランティアグループを対象に、申請のあった15グループに対して、ボランティア活動支援事業助成金を交付しました。

○給食ボランティアわかば会及び大野地区配食ボランティアによる食事サービス活動に対して、材料費等の支援を行いました。

実施日

\*給食ボランティアわかば会（ボランティア延べ260名、延べ1,232食分）

平成28年4月1日、5月1日、6月1日、7月1日、10月1日、11月1日、12月1日

平成29年2月1日、3月1日

\*大野地区配食ボランティア（ボランティア延べ132名、延べ490食分）

平成28年4月15日、5月15日、6月15日、7月15日、9月15日、10月15日、  
11月15日、12月15日

平成29年1月15日、2月15日、3月15日

#### カ 災害ボランティア活動の促進及び基盤強化

○平成28年10月20日、海南保健福祉センターにおいて、平成28年熊本地震で支援活動を行った体験や災害ボランティアセンターの役割の大切さを学んでいただくことを目的に災害ボランティア講座を開催しました。（参加者26名）

講 師：和歌山県社会福祉協議会・災害ボランティアセンター

主 査 南 出 考 氏

[内 容] みんなで災害ボランティアセンターを考える

○平成29年3月5日、海南市住民センターにおいて、大規模災害時に各地から駆けつける災害ボランティアを受け入れ、支援活動を円滑に進めるための拠点となる災害ボランティアセンターの役割や機能などについての講話の後、参加者が運営スタッフ役と災害ボランティア役の両方を体験する形で、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。（参加者32名）

【講話】講 師：和歌山県社会福祉協議会・災害ボランティアセンター

主 査 南 出 考 氏

[内 容] 災害ボランティアセンターの役割や機能について

【訓練】運営スタッフ役

[内 容] ボランティア受付班、オリエンテーション班、マッチング・活動報告班、資機材班に分かれて各班の役割を体験



## 災害ボランティア役

[内 容] 災害ボランティアセンターの流れを体験

- 平成28年6月17日～19日、平成28年熊本地震で被害を受けた熊本県菊池郡大津町の支援活動を行うため、災害ボランティアバスを運行しました。(参加者23名)
- 災害発生時に自発的な意思でボランティア活動をする方が、災害現場において迅速かつ効果的に救援活動を行えるよう、また平常時から災害ボランティア同士の連携、協働を支援するための事前登録を行いました。(登録者33名)

## キ ボランティア連絡協議会との連携

- 平成28年11月23日、海南保健福祉センターにおいて、海南ボランティア連絡協議会との共催により、市内の障害者施設及び団体の障害児者とボランティアが、交流会を通じて親睦を深め、相互の連帯感の向上とボランティア活動の振興を図ることを目的に、ふれあい交流会を開催しました。(障害児者63名、保護者等27名、ボランティア38名参加)

[内 容] つくしによる「吟剣詩舞」、ボランティア菜の花による紙芝居「桃太郎」、災害に関するゲーム、グラウンド・ゴルフゲーム、海南たんぼぼの会による和太鼓演奏、参加者全員での合唱、大野フラワーズによる「ちんどん屋」

- 平成29年2月18日、下津保健福祉センターにおいて、ボランティア活動の体験を通じて、より多くの方々がボランティアを始めるきっかけづくりにしていただくことを目的に、下津町ボランティア連絡協議会の主催で「きて みて 体験 ボランティアの集い」を開催しました。

[内 容] 発表コーナー：紙芝居の読み聞かせ、手品、バンド演奏、健康体操、日本舞踊等

体験コーナー：絵手紙、手芸、ペットボトルキャップ選別、グラウンド・ゴルフ、さをり織り、ハイゼックス

販売コーナー：炊き込みご飯、豚汁、チキンナゲット、フランクフルト、飲み物、焼き菓子、

## バザー

展示コーナー：下津・大東・加茂川小学校の児童の作品、非常持出袋

### ○海南ボランティア連絡協議会の運営支援

海南ボランティア連絡協議会総会の開催

海南ボランティア連絡協議会理事会の開催（2回）

### ○下津町ボランティア連絡協議会等の運営支援

下津町ボランティア連絡協議会会議の開催（2回）

ボランティアの集い実行委員会の開催（3回）

## （8）ふれあい・いきいきサロン支援事業

### ア ふれあい・いきいきサロンの運営支援、設置支援

身近な地域において、高齢者や障害のある方、子育て中の親などの当事者とボランティアとが協働で企画をし、共に運営する仲間づくりの場を開設することで、地域住民の孤立感の解消、地域の見守り並びに閉じこもり予防、介護予防、健康維持・向上に取り組むふれあい・いきいきサロンを推進し、地域における福祉コミュニティの形成に資することを目的に、14か所のサロンに対し運営支援のほか、活動費・設立費用等を助成しました。

## （9）民生委員互助共励事業

民生委員児童委員の互助と共励を基盤として、活動の充実振興を図るため、民生委員互助共励事業（県社会福祉協議会事業）を実施しました。その給付内容は次のとおりです。

種 別	件 数	金 額	内 訳
一般傷病	7件	64,000円	@10,000×4件、@8,000×3件
配偶者死亡	2件	30,000円	@15,000×2件
災害見舞	1件	20,000円	@20,000×1件
合 計	10件	114,000円	

(10) 地域福祉活動計画進行管理事業

ア 地域福祉計画・地域福祉活動計画の検証会議の開催

海南市と共催で、地域福祉計画・地域福祉活動計画の検証会議を開催しました。

平成28年10月27日 海南市役所5階第1委員会室

(11) 小地域福祉座談会事業

ア 小地域福祉座談会の開催

地域に住む住民同士が気軽に話し合える場である小地域福祉座談会を開催しました。

【第1回】平成28年8月21日 北野上公民館（参加者36名）

[講話] 講 師：佛教大学 福祉教育開発センター

講師 金田喜弘氏

地域で創るお互い様のまちづくり

[内容] カードを用いた助け合い体験

【第2回】平成28年9月11日 北野上公民館（参加者32名）

[内容] 買い物について

(12) 担い手発掘・育成事業

ア ボランティア養成講座の開催

仕事を退職されたシニア世代や子育てが終わった方、ボランティア活動に関心や意欲のある方が、ボランティアを始めるきっかけとなるよう、ボランティア養成講座を全4回開催しました。（参加者8名）

【第1回】平成28年9月9日 海南保健福祉センター

[内 容] 講話「ボランティアとは…」、ボランティアによる体験談

【第2回】平成28年10月12日 海南保健福祉センター

[内 容] 高齢者福祉施設等からの話、自分にできる活動を考えてみよう

【第3回】平成28年10月20日～11月30日 各ボランティア活動体験先

[内 容] ボランティアと一緒に体験してみよう

【第4回】平成29年1月27日 海南保健福祉センター

[内 容] 情報交換及び交流

イ ボランティア活動体験の実施

地域福祉活動を担っていただく人材を発掘・育成するため、各種ボランティア活動体験を実施しました。

【ペットボトルキャップ選別・洗浄】

期 日：平成28年5月14日、6月11日、7月9日、10月8日、11月12日

参加者：83名（うち小学生延べ8名、中学生延べ28名、大学生延べ2名）

【ボランティア講習会】

期 日：平成28年9月14日

場 所：関西電力株式会社海南発電所

参加者：所員20名

内 容：ボランティアについて講話、車イス体験

【ふれあい福祉フェスティバル】

期 日：平成28年9月24日

場 所：海南市総合体育館

参加者：9名（うち中学生8名）

内 容：設営、ブース、片付けの手伝い

ウ サロンリーダー養成講座の開催

ふれあい・いきいきサロンを立ち上げてくれるサロンリーダーを養成するための養成講座「ふれあい・いきいきサロンで楽しもう！～私らしく過ごせる地域の居場所づくり～」を開催しました。

【第1回】平成28年11月19日 海南保健福祉センター（参加者27名）

[内 容]「ふれあい・いきいきサロンとは」の講話、グループワーク等

【第2回】平成28年12月10日 海南保健福祉センター（参加者18名）

[内 容]「サロン立ち上げのノウハウ」の講話、グループワーク等

【第3回】平成28年1月21日～2月25日 各サロン見学先（参加者11名）

[内 容] 市内で実施されているサロンを見学

(13) 福祉総合相談事業

様々な生活課題や福祉課題を相談できる福祉の総合相談窓口として、組織内で相談内容の共有、連携ができる仕組みづくりと、相談内容の集計・評価を行い、福祉相談支援体制の充実を図りました。

相談件数241件（うち、新規相談222件、継続相談19件）

(14) 家計相談支援事業

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、市の委託を受けて、生活困窮者を対象に家計表の作成と分析・評価を行い、家計の改善を図り、また家計管理能力を高めるための支援を行う家計相談支援事業を実施しました。

利用者11名（うち、継続利用中6名）

(15) 生活支援コーディネーター等業務

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進するため、市の委託を受けて、地域における生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす地域支えあい推進員として、地域住民及びNPO法人、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人等の事業主体と連携しながら、多様な日常生活の支援体制の充実及び強化を図るコーディネーター等業務を実施しました。

ア 生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体への参加

期 日：平成28年6月2日、8月9日、11月21日、平成29年3月24日

イ フォーラム「みんなで創ろう 助けあい社会フォーラム in 海南市」の開催

期 日：平成29年2月4日

場 所：海南保健福祉センター

内 容：【講話】「みんなで創ろう 助けあい社会とは」

講師：公益財団法人さわやか福祉財団 戦略アドバイザー 土屋幸己氏

【活動報告】「地域支えあい推進員（生活支援コーディネーター）の取組状況」

【住民参加型見える化チャート】「海南市における助けあい活動とその広げ方」

参加者：258名

### 3. 福祉サービス利用支援事業

#### (1) 福祉サービス利用援助事業

県社会福祉協議会の委託を受けて、判断能力が不十分な高齢者や知的障害・精神障害のある方などに対して、福祉サービス利用援助、日常生活上の手続き援助、日常的金銭管理、書類等預かりを行う福祉サービス利用援助事業を実施しました。

	高 齢 者	知的障害者	精神障害者	そ の 他	合 計
前年度末件数	13件	6件	24件	4件	47件
新規契約件数	3件	2件	2件	0件	7件
小 計	16件	8件	26件	4件	54件
契約終了件数	1件	0件	2件	1件	4件
現利用者数	15名	8名	24名	3名	50名

#### 4. 資金貸付事業

##### (1) 資金貸付事業

###### ①生活資金貸付事業

社会福祉対策の一環として、災害や疾病その他の事情により生活に困窮をきたした方に、生活資金を貸付け、その経済的自立の助長と生活意欲の向上を図りました。(貸付件数14件、貸付額593,000円)

###### ②生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会の委託を受けて、低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯に対し、安定した生活を営むための援助施策として、また世帯の生計中心者の失業等により生計の維持が困難となった世帯に対し、次のとおり生活福祉資金貸付事業を実施しました。

種 別	件 数	金 額	内 訳
総合支援資金生活支援費	1件	273,200円	@273,200×1件
福祉資金福祉費	5件	1,070,176円	@130,800×1件 @100,000×1件 @79,376×1件 @270,000×1件 @490,000×1件
福祉資金緊急小口資金	3件	300,000円	@100,000×3件
教育支援資金教育支援費	4件	5,482,800円	@450,000×1 @3,744,000×1件 @816,000×1件 @472,800×1件
教育支援資金就学支度費	3件	764,119円	@138,430×1件 @206,786×1件 @418,903×1件
合 計	16件	7,890,295円	



### ③金銭教室事業

生活福祉資金の借入申込者の生計状況から、金銭管理能力の乏しさゆえ生活が困窮する傾向が顕著であることから、子どもの頃から金銭教育が必要であると考え、小学生とその親を対象に金銭教室を開催しました。

平成28年8月20日 海南保健福祉センター（参加者26名）

〔内 容〕 おこづかいの上手な使い方、子どものうちに知っておきたいお金の話

## Ⅲ. 在宅介護事業

### 1. 介護保険事業

#### (1) 介護保険訪問介護事業

##### ア 介護保険訪問介護事業

要介護認定を受けた利用者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して生活援助や身体介護のサービスを提供する介護保険訪問介護事業を実施しました。

介護保険訪問介護事業の利用者及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	52	53	53	56	52	51	50	46	48	50	45	48	604

サービス提供時間

(単位 時間)

生活援助	660.73	703.56	755.56	703.73	663.89	568.98	532.07	555.48	599.14	583.07	557.72	596.49	7,480.42
身体介護	219.90	252.90	295.75	266.41	255.66	272.41	265.00	260.91	265.83	229.99	229.00	271.57	3,085.33
合計	880.63	956.46	1,051.31	970.14	919.55	841.39	797.07	816.39	864.97	813.06	786.72	868.06	10,565.75

## イ 介護予防訪問介護事業

要支援認定を受けた利用者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して生活援助や身体介護のサービスを提供する介護予防訪問介護事業を実施しました。

介護予防訪問介護事業の利用者及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	35	36	38	39	37	38	36	36	37	37	35	36	440

サービス提供時間

(単位 時間)

生活援助	225.83	235.16	258.75	248.25	247.75	244.66	213.83	224.50	222.08	207.00	199.41	242.50	2,769.72
身体介護	9.50	12.50	9.50	6.50	7.00	6.50	7.50	9.50	8.00	8.08	9.50	12.00	106.08
合計	235.33	247.66	268.25	254.75	254.75	251.16	221.33	234.00	230.08	215.08	208.91	254.50	2,875.80

## (2) 介護保険居宅介護支援事業

### ア 介護保険居宅介護支援事業

要介護認定を受けた利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるように、介護支援専門員がケアプランの作成や各居宅サービス提供事業者との連絡、調整等を行う介護保険居宅介護支援事業を実施しました。

居宅介護支援事業の利用者は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	97	102	104	100	101	97	97	93	94	101	93	91	1,170

## イ 介護予防支援事業

市の委託を受けて、要支援認定を受けた利用者が居宅において自立した日常生活を営むことができるように、介護支援専門員が介護予防プランの作成や各居宅サービス提供事業者との連絡、調整等を行う介護予防支援事業を実施しました。

介護予防支援事業の利用者は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	12	12	12	12	12	12	12	12	13	12	13	15	149

## 2. 障害福祉事業

### (1) 障害福祉サービス居宅介護事業

障害福祉サービスの利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して家事援助や身体介護のサービスを提供する障害福祉サービス居宅介護事業を実施しました。

障害福祉サービス居宅介護事業の利用者及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	21	21	21	21	19	20	20	20	19	19	19	18	238

サービス提供時間

(単位 時間)

家事援助	229.50	227.00	244.50	216.00	205.50	200.00	198.00	203.00	196.00	180.50	189.00	209.50	2,498.50
身体介護	69.00	79.50	74.50	73.50	69.00	69.50	69.00	67.00	66.00	65.00	68.50	73.50	844.00
合計	298.50	306.50	319.00	289.50	274.50	269.50	267.00	270.00	262.00	245.50	257.50	283.00	3,342.50

(2) 障害福祉サービス同行援護事業

障害福祉サービスの利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して同行援護のサービスを提供する障害福祉サービス同行援護事業を実施しました。

障害福祉サービス同行援護事業の利用者は及びサービス提供時間は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	2	3	3	4	3	3	4	3	3	3	3	3	37

サービス提供時間

(単位 時間)

身体介護無	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
身体介護有	14.00	14.50	17.50	19.50	15.00	16.50	19.00	16.00	17.00	18.00	14.00	17.25	198.25
合計	14.00	14.50	17.50	19.50	15.00	16.50	19.00	16.00	17.00	18.00	14.00	17.25	198.25

(3) 障害福祉サービス移動支援事業

障害福祉サービスの利用者が、居宅において自立した日常生活を営むことができるように、訪問介護員を派遣して移動支援のサービスを提供する障害福祉サービス移動支援事業を実施しました。

障害福祉サービス移動支援事業の利用者は、次のとおりです。

実利用者数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	37

## サービス提供時間

(単位 時間)

身体介護無	23.00	23.00	23.50	22.50	22.50	21.00	24.50	25.00	25.00	25.00	26.50	29.00	290.50
身体介護有	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合 計	23.00	23.00	23.50	22.50	22.50	21.00	24.50	25.00	25.00	25.00	26.50	29.00	290.50

## IV. 在宅福祉事業

## 1. 生きがい活動支援通所事業

## (1) 生きがい活動支援通所事業

市の委託を受けて、高齢者を対象に、下津保健福祉センターにおいて、利用者相互のふれあいと交流を深め、健康の保持及び増進を図ることを目的に、入浴、娯楽等のサービスを提供しました。利用者の状況は次のとおりです。

(開所日数：208日)

	男	女	合 計
延利用者数	1,676名	2,796名	4,472名
うち地区単位	728名	1,619名	2,347名
うちフリー	948名	888名	1,836名
うちひとり暮らし	0名	289名	289名

## V. その他の関連事業

## (1) 共同募金運動

自治会の方々、民生委員児童委員、ボランティア等の尽力をいただき、共同募金運動（10月1日～3月31日）を実施したところ、住民の皆様方から寄せられた募金額は次のとおりです。

(目標額及び実績額)

目 標 額	実 績 額	達 成 率
8,732,000円	7,793,847円	89.3%

(実績額内訳)

戸別募金	街頭募金	職域募金	イベント募金	個人募金	その他	合 計
6,909,006円	160,091円	707,143円	5,839円	1,500円	10,268円	7,793,847円

## (2) 日赤社資募集

自治会や奉仕団の方々の尽力をいただき、日赤社資募集（5月1日～5月31日）を実施したところ、住民の皆様方から寄せられた金額は次のとおりです。

(目標額及び実績額)

目 標 額	実 績 額	達 成 率
7,609,000円	7,148,448円	93.9%